中板	平成26年度
一夫 他	干队20平及

事務事業事後評価表

《基本情報》

<i>□ 本件 旧刊 //</i>				
事務事業の名称 [1]	自治公民館施設整備	事業		ミュニティ推進課 川 慶一郎
	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		重点 施策 [4]
総合計画での位置付け	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		□該当
[3]		(3)社会教育施設の充実		
実施の根拠		_	年度予定 : 金額	千円】
(複数回答可)		等【 玉名市自治公民館施設整備第	_]
[5]	□その他の計画【]	□該当なし
事業区分	☑ソフト事業	■ 義務的事業 ■ 建設・整	整備事業	持管理事業
[6]		□計画等の策定事務	- 11	
会計区分 [7]	☑ 一般会計 □	特別·企業会計【	】 款 10 項	5 目 2 細目 8
《事務事業の目的』	»			
事務事業の実施背景 (どのような問題又は		fの自治公民館が存在している。E 、老朽化している建物が数多く存		
ニーズがあるのか) [8]		としての充実を図る必要がある。	在しているため、地域住民の	/一番分型な土涯子自
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、自治公民館			
意図(どのような状態に したいのか) 【10】	して施設の安全及び	び修繕の経費を市より補助するこ 刊便性を向上させる。	とで、住民の学習意欲に答え	え、地域づくりの拠点と
《事務事業の概要》	»			
事業期間	□単年度のみ	☑ 単年度繰返し	□ 期間限定複数年	度
事未規則 【11】	【 年度】	【 H17 年度から】	【 年度~	年度まで】
事業主体 [12]	□国□県	☑市 民間	□その他【	1
実施方法 [13]	□直営□全部	部委託 □ 一部委託 ☑	補助金等交付 □ その他	b[]
		要な自治公民館の活動を促進し、		する細事業 [15]
		発展を図るため、自治公民館を整 対して補助金を交付する。	① 自治公民館旅	西設整備事業
事務事業の具体的内容 事務事業の具体的内容	新築(建築後24年以	上の建替えを含む)及び購入(建		
事務事業の共体的内容		は、事業費の3分の1かつ上限3002		
[14]		は、事業費の3分の1かつ上限100 事業費の3分の1かつ上限30万	4	
	円。	, 1,15C11 073 17 170 0 11 150073	5	
《事務事業実施に	ダスコスト≫			

◇ 予防予未大心に 你 ∅ □ ∧ Γ ル									
					H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画
	事	国庫支出金		%					
	業費	県支出金		%					
		起債		%					
+ Љ	~ 千	受益者負担	担						
投 入	南	その他							
⊐		一般財源			1,440	15,730	4,520	5,500	
スト		[16] 小 計	ŀ		1,440	15,730	4,520	5,500	0
1.		[再掲]臨時・非常勤職員人作	牛費(干	千円)	0	0	0	0	
	職人	職員人工数			0.18	0.15	0.15	0.15	
	員件	職員の年間平均給与額	額(千	円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
	の費	【17】 小 討	H		1,023	842	842	842	
					2,463	16,572	5,362	6,342	

《事務事業の手段と活動指標》[18]

事	務事業を構成する細事業	事業を構成する細事業 手段(細事業の具体的内容)		単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
1		公民館の新築・改修・修繕を行う行政 区に対し、補助金交付を行う。	補助金交付単年度 件数	件	7	15	11	7
2			補助金交付累計件 数	件	46	61	72	79
3								
4								
(5)								

≪事務事業の成果≫[19]

ľ		成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
	成業指標(息凶の数値化)		可弁カム又は説明		H23実績	H24実績	H25実績	/
I	1	自治公民館整備率	H17年度以降の補助金累計交付件	%	17.0	23.0	26.0	30.0
		日石公氏既歪脯平	数/全自治公民館数(258)×100		17.8	23.6	27.9	/
	2							
	2							/

《事務事業の評価》

<u>" 77 :</u>	《事務事業の評価》								
評価項目		評価の視点	評価	評価の説明					
妥当	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	□ 問題あり☑ 問題なし	自治公民館が老朽化している行政区、 瓦の葺き替え、洋式トイレへの改修等					
性		税金を使って達成する目的か。また、役割が 薄れていないか。	□ 問題あり☑ 問題なし	市民の要望は増加している。市の補助 - が事業費の3分の1であるため市民の - 方は大変感謝され、地域活動の推進に					
〈判定〉 A	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる 等の影響があるか。	✓ 影響あり✓ 影響なし	役立っている。このため、廃止等による 影響は大変大きいと思われる。					
有効	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	☑ 達成 ☐ 未達成						
性	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	□ 余地あり☑ 余地なし						
〈判定〉 A	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	✓ +分✓ ホ+分						
**	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地 はないか。	□ 余地あり☑ 余地なし						
効 率 性	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ 以上検討の余地はないか。	□ 余地あり☑ 余地なし						
.—		事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプ ロセスはないか。	□ 余地あり☑ 余地なし						
〈判定〉 A	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	□ 余地あり☑ 余地なし	-					
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	□ 余地あり☑ 余地なし						

《今後の方向性と改善》

	今後の方向性 [31]	□ 拡充して継続□ 現状のまま継続□ 縮小を検討□ はからでは、□ はからでは、□ はからでは、□ はいっとは、□ はいっとは、
	1101	学習活動や趣味、健康づくりに生きがいを見出そうとする人が増えているため、地域の生涯学習の拠点として自治公民館の整備が必要である。また、自治公民館の老朽化や高齢化に対応したトイレの改修、公共下水道接続等に伴う公民館の改修等、この事業の重要性は増しているため補助金交付事業は現状のまま継続させていく必要がある。
昨	年からの見直し・改善状況 【32】	 増築及び改築について補助上限を100万円とする補助金交付要綱を一部改正するとともに、高齢介護課の介護予防拠点施設整備補助金との併用により整備率を向上させることができた。

■評価責任者記入欄■

自治公民館の整備は、地域づくりや人づくりに大きな効果が見込まれる。宝くじ助成 評価責任者(課長)の所見 金や介護予防拠点施設整備補助金等の補助金と併用することにより、自治公民館 施設整備の充実を図っていく。

評価責任者

坂本 政輝